



「わが社の健康宣言」及び「健康づくりチャレンジ企業」

社会福祉法人いたみ杉の子(以下、「本法人」と略します)では、今年度、全国健康保険協会が行う「わが社の健康宣言」の参加と兵庫県がおこなう「健康づくりチャレンジ企業」に登録しました。健康宣言のメッセージは「職員の健康は、利用者さんの笑顔」です。

今年度、これらの登録によって、本法人としては、次のような事業に取り組みました。



- 職員の健康診断の全員受診の推進と健康管理給付金の交付制度の実施
- インフルエンザ予防接種の実施(継続)
- ストレスチェックの実施と職員向け研修やフォロー体制の強化
- 健康管理に関する職務研修の実施

今後も、本法人においては、職員の健康向上を目指して、いろいろな取り組みをして、働きやすい職場環境づくりに努めていきたいと思っております。

- 健康増進の給付金の創設

各財団等から助成をいただきました(ありがとうございます)

今年度も各財団や補助団体からのご支援をいただきました。改めてお礼申し上げますとともにご報告します。

○財団法人神戸やまぶき財団さま

第14回(2019年度前期)社会福祉助成金
対象事業:グループホーム利用者送迎用車両
(リフト付きワゴン車)購入
助成額:2,160,000円

○公益財団法人日本財団さま

2019年度福祉車両整備助成
助成事業:ホープゆう利用者送迎用
車両(ワゴン車)購入
助成額:1,560,000円

○公益財団法人木口福祉財団さま

2019年度地域福祉振興助成
対象事業:グループホーム備品(テーブル、いす等)整備
助成額:880,000円

感謝



いたみ杉の子 パート職員急募!!

社会福祉法人いたみ杉の子では、グループホームをはじめ各事業所において、利用者(知的に障がいのある人)の生活や就労のサポートをしていただけるパート職員を募集しています。資格のない方や未経験の方でも大歓迎です。職場見学や体験も受付けておりますのでお気軽にご相談ください。また、勤務時間についてもご相談に応じます。

| 区分 | 基本的な勤務時間 | 日給(単位:円) | 休憩等 |
|----|-------------|----------|--------|
| 夜勤 | 21:00~翌7:00 | 10,520円~ | 2時間の休憩 |
| 遅出 | 16:00~21:00 | 5,700円~ | |
| 早出 | 7:00~10:00 | 3,420円~ | |
| 日勤 | 8:30~17:30 | 9,120円~ | 1時間の休憩 |

(特定処遇改善手当含む)

問合せ:いたみ杉の子 事務局
住 所:〒664-0006 伊丹市鴻池1-10-15
電 話:072(777)7486
メール:honbu@itamisuginoko.or.jp

法人メールマガジン購読者募集

法人では、月1~2回メールマガジンを発行しています。法人の最新情報を配信していますので、ぜひ、ご購読ください。
(受信は、PCメールアドレスのみとなります)
※氏名、所属、配信先メールアドレスをお知らせください。

購読申込先:いたみ杉の子 事務局(右記参照)

YOUねっと28号 編集・発行 社会福祉法人いたみ杉の子 事務局

〒664-0006 伊丹市鴻池1-10-15
電話/072(777)7486
FAX/072(777)7446
e-mail/honbu@itamisuginoko.or.jp

YOUねっと No.28

発行日:2020年3月6日
発行者:社会福祉法人
いたみ杉の子

いたみ杉の子機関誌

特集●いたみ杉の子の地域交流活動について



四季の創作 シーズゆうのみんなで作ったよ

ごあいさつ

皆様、今年も、本法人の運営について、ご支援ご鞭撻をいただきますようよろしくお願いいたします。
さて、今年はいよいよ東京オリンピック及びパラリンピックの開演年です。近年のインバウンドが続く中、今年はいよいよ海外からの来日される方が予想されます。そういえば、最近では、京都、大阪などの大都市以外にも外国人の方をお見掛けすることが多くなり、しかも、お箸の使い方から日本食の食べ方まで違和感なく、すっかり日本の風土に溶け込んでいるように感じます。もとより、日本というのは、島国ながら外国からの文化や技術を吸収し、いつの間にか自分のものとする度量がある国だけに、外国人であっても溶け込みやすい土壌があるのでしょう。しかし、そのような度量のある国なのに、こと障がいのある人に関しては、まだまだ差別感があるのかと不思議に感じます。
そのようなことから、今年、日本で開催されるオリンピック、パラリンピックが、どちらも世界的なスポーツのイベントとして盛り上がることを願うとともに多様な競技を通じて、少しでも障がいのある人との距離が縮まることを願いたいと思います。

社会福祉法人いたみ杉の子 理事長 小山 達也

contents(目次)

- P2・3...いたみ杉の子の地域交流活動
- P4・5...施設支援部より
- P6・7...地域支援部、就労支援部より
- P8...インフォメーション

<表紙写真> 放課後等デイサービスシーズゆうの利用児童による作品集です。月に数回ある創作やおやつ作りの活動の中で作品を作りました。子ども達の作品は、一つ一つ個性豊かで魅力にあふれています。いつも子ども達からたくさんパワーをもらっています!!みなさんにもこの作品集から子ども達のエネルギーが伝わりますように!

いたみ杉の子の 地域交流活動

2019年開催分

| 開催月 | 活動内容 | 参加者 |
|-----|-------------------------|-----|
| 1月 | クラフト(ブローチ作り) 蕪さま | 13名 |
| 3月 | リンパマッサージ リンパサークルななさま | 9名 |
| 5月 | クラフト(どんぐりの置物) 蕪さま | 11名 |
| 6月 | 押し花(カレンダー作り) ふしぎな花倶楽部さま | 16名 |
| 8月 | オカリナ演奏会 COCOIROさま | 23名 |
| 10月 | ハンドマッサージ カモミールさま | 7名 |
| 11月 | 楽器作り 喫茶スタッフ | 24名 |
| 11月 | 演奏会 ウクレレベーススチールギターバンドさま | 30名 |
| 12月 | 押し花(カレンダー作り) ふしぎな花倶楽部さま | 14名 |

喫茶ゆうゆう イベント

喫茶ゆうゆうでは、ボランティア講師として地域の皆さんに来ていただき、特技や趣味を活かして一緒に楽しいイベントや講座を開催しています。地域の方々をはじめ、利用者やご家族などたくさんの参加者がありました。

2020年もより多くの人や楽しみと出会う優しい場所となるようなイベントを考えていきます。みなさまのご来店・ご参加をお待ちしております！



喫茶ゆうゆう
営業日 月～金
定休日 土・日・祝日
営業時間 10:00～16:00
伊丹市鴻池1丁目10-15
問合せ 072-777-7562
(ゆうゆう代表)

ホープゆう クリスマス コンサート

昨年12月16日には『歳末たすけあい運動配分金』のご協力をえて、クリスマスコンサートを開催しました。いたみ杉の子の音楽療法講師をお願いしている『アンサンブルカモミール』の方々に演奏を依頼。バイオリンやクラリネットのアンサンブル演奏を披露していただきました。

ホープゆうでは開所した一昨年に続き今回も開催することになり、利用者からは「今年もするの！やったー！」と喜んで頂き、1カ月前から会場の装飾やプレゼント袋を作成したり、案内を配ったりと、盛り上げる気満々で準備を進めてきました。

当日は、利用者さんの他、地域住民や近隣施設の高齢者、障がいをもたれた方や保護者など、たくさんの方が来場いただき、ホープゆうの利用者さんはホストとして活躍！来場されたみなさんにプレゼントのゆうゆうクッキーや飲み物を「どうぞ～」と渡したり、案内役を務められました。お客さんである地域や近隣施設の方々との交流に、少々緊張されながらも楽しまれている様子でした。

クリスマスコンサートは、お馴染みの『ジングルベル』などのクリスマス・お正月メドレーから『ソーラン節』などバラエティー豊かな曲目で、来場されたみなさんも歌をうたいながら楽しいひと時をすごされました。季節を感じる行事であるとともに、たくさんの人との出会いの機会となるクリスマスコンサートは、これからも続けていきたいと思ひます。

改めて歳末たすけあい運動配分金のご支援についてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



ジョブリンクゆう 施設外就労の取り組み

今号ではジョブリンクゆうが実施している事業の取り組みとして、地域にあるスーパービバホーム鴻池店での施設外就労(外勤作業)についてご紹介します。

ご利用者の取組まれている主な作業は、日用品売り場での商品補充と商品の前出し作業です。その他にも、複数個の商品を1セットにまとめて販売できるように包装するバンドルと言う作業や、ハンディモップを使った商品棚の清掃、商品棚下にある引き出し等の商品整理も行っています。

作業の軸となる商品補充では、バーコードの下部に印字された13ケタのJANコードの下4ケタと、商品棚に設置されている値札のJANコードを照らし合わせて補充を行っています。はじめは商品の場所がわからず、売り場を行ったり来たりすることもありましたが、仕事を続けていくうちに、今では、商品の場所だけでなく、その棚にどれぐらいの商品補充スペースがあるかまで、把握できるようになりました。お客様がいらっしゃる店内での適度な緊張感、丁寧な商品の取扱い、店内での接客マナーなど、事業所内では習得できないことをこの店舗での作業を通して体験されています。

ビバホームでのお買い物の際、水色のユニフォームを着て商品の品出しをしているジョブリンクゆうのメンバーさんたちの姿をお見かけになりましたら、「お、がんばってるな」と心の中で見守り、応援していただければと思います。



企業様からのお仕事募集中！

ジョブリンクゆうでは、ご利用者の障がいのある方の社会参加の一環として、就労訓練に必要なお仕事を募集しています。日々の活動は、企業先に出向いてお仕事をグループ就労と企業から受託した作業を行う所内グループに分かれてお仕事をしています。就労に向けてグループ就労をさせていただけの企業先を伊丹市内で探しています。障がいのある方の「もっと働きたい」をご理解いただき、ご協力、ご支援いただける企業様からのお仕事をお待ちしております。もし、「こんな、お仕事できるかな...?」などのご相談やご提案などありましたら、職員がお伺いします。是非とも事業所までご連絡頂けますよう宜しくお願いします。



ジョブリンクゆう Tel 072-785-3111
Fax 785-3112

すぎのこ夏フェス&こうのいけ音楽祭

『すぎのこ夏フェス』は鴻池地区の夏の楽しみとして、法人創設以来22年続けています。地域住民の参加だけでなく、出店や演者としての参加、また準備や片付けなど、一緒になって盛り上げていただいています。

また、秋のイベントとして、鴻池小学校で開催された『こうのいけ音楽祭』へも、地域の一員として、企画・準備・運営などで参加しています。同じ鴻池で生活し、活動する地域住民として共に支えあえる関係を、これからも大切にしていきたいと思ひます。

この音楽祭も歳末たすけあい運動配分金のご支援をいただきました。ありがとうございました。



こうのいけ音楽祭の様子

ガーデンハイツ杉の子

運用スタートしています!!

前号でもご紹介をしましたが、ガーデンハイツ杉の子がよいよ運用を開始しました。本グループホームは広さや設備など使い勝手もよく、快適に過ごされています。

また、急なトラブルや体調不良なども、併設する3つのホーム同士でフォローできるため、生活していても、また支援する時にも安心感が増しました。今後は、同じく併設する短期入所や地域交流スペースの活用も検討していきます。



ホーム杉の子 食事の様子



児玉さんと部屋(ホーム杉の子)



GH交流スペース
活用はじまりました!



交流広場には
健康遊具も設置しています。

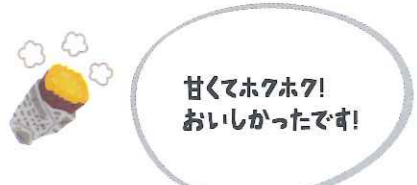
フォーゆう

『芋ほり&焼き芋大会』

フォーゆうでは、昨年に続き『芋ほり&焼き芋』イベントを行いました。今年も、伊丹市社会福祉協議会農業事業の一環でご紹介いただいた寺本東の方々の畑の芋と、敷地内の畑で育てた安納芋とを、みんなで収穫し焼き芋にしました。みなさん焼き立てほやほやの焼き芋を口いっぱいにはおぼり満面の笑み!栽培から収穫まで利用者のみなさんが携わり、利用者の方々はもちろんスタッフも一緒になって楽しみ、充実感のあるイベントとなりました!!



地域の方のアドバイスを
いただきながら、
収穫しました!!



ゆうゆう

『そら植物園×ゆうゆう』の
コラボ石鹸の販売!!



コラボ石鹸(竹炭、豆乳、カモミール)



そら植物園インフォメーションセンター
&カフェ店内

ゆうゆうではご縁があって大阪府池田市にある『そら植物園』の農場にて毎週利用者の作業をさせていただいています。

『そら植物園』はプラントハンター西島清順さんが代表を務められ、国内外を旅して集めた植物を活かした、ランドスケープデザインや緑化事業などの依頼を今までにない切り口でプロデュース。『ひとの心に植物を植える』活動を展開されています。

そしてこの度、「何か一緒にできないか」というお互いの思いがひとつの形になりました!

ゆうゆうの利用者さんが丁寧に作ったハンドメイドの石鹸が、そら植物園デザインのパッケージをまとい、東京・代々木の『そら植物園インフォメーションセンター&カフェ』限定コラボ商品として2019年秋から販売となりました。

ローズマリーの煮だし液・エッセンシャルオイル・はちみつを練り込んだ、天然のヤシ油石鹸をベースに作成した3種類の手作り石鹸に、それぞれ使用している植物をモチーフとしたナチュラルなデザインのパッケージを楽しんでいただけます。

ゆうゆうの利用者さんたちの仕事が、遠く東京の地で誰かに喜んでもらえると思うと、励みにもなり、さらなるチャレンジの意欲も芽生えます。

今後も引き続き利用者のさらなる社会参加と新たな可能性を広げていきたいと思えます。



農場での作業の様子

ホープゆう

『防災ワークショップ』に参加しました!!



昨年8月30日に開催された、伊丹市手をつなぐ育成会主催の『防災ワークショップ』にホープゆう一同で参加しました。講師の方から、災害時に身の安全の確保はもちろんのこと、子どもや障害をおもちの方々の笑顔をどうやって守っていくかという話から、なじみのある『駄菓子』を非常食として備えることで笑顔を増やしていくという取り組みの話などがありました。その後、ホープゆうのみなさんも非常用の駄菓子バッグを楽しみつつも真剣に作成しました。

講師の方から、『賞味期限が近づいた非常食は、開封せずに過ごせたことに感謝しながらいただきます!』とのお話に、日ごろ気づかない、皆が元気に過ごせる日々のありがたさを実感したワークショップでした。



駄菓子バッグ!



地域支援部

放課後等デイサービス事業所 シーズゆう

ツリーイングにチャレンジしました!!

シーズゆうでは、子どもたちに放課後活動ならではの体験してもらいたいと思い、10月6日(土)にツリーイングにチャレンジしました。一般社団法人「WGM」(Water Ground Mountain)の協力で、甲山森林公園をフィールドに実施しました。ツリーイングはロープを使って、背の高い樹木に登る活動です。インストラクターがついてくれて、ヘルメットやハーネスをつけて安全にできます。木の上から見える世界は違って見えます。目に入る木もれ陽や頬に感じる風、鳥の声や枝の上に腰をかける感覚など普段感じることができない体験をしました。

子ども達もスタッフもいい表情で楽しみました。最初は「こわそう」としぶっていた子ども、友だちの登る様子を見てやる気を出して、2回目にも挑戦する姿をみせてくれました。結果的には参加者全員が登ることができ、とても満足した活動になりました。

「伊丹の近場でもできるといいですね」とWGMの代表からは声をかけていただいています。



発達支援連携室

公開研修会「施設内事業所からの実践報告」を開催しました。

発達支援連携室では、兵庫県障害児等療育支援事業の委託を受け、年間を通して様々な公開研修を実施しています。今回の研修会では「施設内事業所からの実践報告」を去る10月25日に開催しました。

「ホープゆう」と「シーズゆう」からの報告を受け、共同研究者の赤木和重先生から論点整理をしてもらいグループ討議とそれをふまえたコメントで実践を深めることができました。



就労支援部

ジョブリンクゆう

CAP研修会を開催しました。

去る11月8日にジョブリンクゆう(就労移行支援・就労継続支援B型)では、障害者虐待防止の取り組みの一つとして、子どもへの暴力防止に長年取り組んでおられる「むこがわCAP」のご協力を得て、障がいのある方を対象にした「CAP子どもへの暴力防止プログラム」を研修会として開催し、利用者・職員が体験しました。

プログラムの中で、「安心」「自信」「自由」という大切な権利(人権)があることを伝えるとともに、暴力にあいそうになった時の具体的な方法には、「NO(嫌)」「GO(逃げる)」「TELL(相談する)」という3つの方法があることや、知らない人に話しかけられて怖くなった時や、連れ去られそうになった時に使える簡単な「護身術」や「特別な叫び声」などを学びました。



“むこがわCAP”の方々には、寸劇なども交えながら、様々な暴力から心とからだを守るために何ができるかをわかりやすく伝えていただき、本人にできることを職員も一緒に学ぶことにより、虐待防止の取り組みの一つとして考える機会となりました。

「安心・自信・自由」の三つの権利について教わり、どうやって自分を守り、自分以外の人に対してどう接するべきか!質問をしたり、問いかけに答えたり、時々笑ったり…。ちょっと難しいと感じつつ、利用者さんも真剣な顔で聞かれていました。そして、次の日、職員に「ちょっと僕の権利が奪われてる気がするんだけど…」と一人の利用者さん。「どうしました?」と職員が尋ねると、「家で、兄弟が勝手に僕のゲームを使うんだ…」との事!!「なるほど…。それは困ったね。どうすればいいかなあ…」と権利について、自分で考え関心を持っておられました。

「一人で悩まず、困った時はまず相談」これもCAPで教わりました。彼は、「自分の権利を考える」、「誰かに相談」の2つをしっかりと実践され、早々に効果があったようです。小さな気づきの中から少しずつ、利用者さん一人ひとりに浸透していくようこれから私たち職員もお手伝いしていければと思います。



阪神北障害者就業・生活支援センター

はたらき隊の報告!!

当法人が、国・県からの委託を受けている阪神北障害者就業・生活支援センターの事業のひとつとして、在職者の方との交流活動(通称:はたらき隊)があります。

今回は、昨年11月28日に開催したメイクアップ講座を紹介します。今回は、元・松蔭女子大学被服学科客員教授のタミー木村先生を特別講師にお招きして、メイクや身だしなみについて学んだあと、メイクの体験をしました。

「お化粧は隠すのではなく、自分のよいところを引き出すもの」「立ち居振る舞いもまた大事なポイント」というお話をいただいた後、3名の参加者の方は先生の助言と指導を受けながらメイクを実践。皆さん、熱心にお化粧をされていました。お化粧が進んでいくうちに表情や雰囲気がどんどん明るく変わっていきます。会話も弾み、楽しさと満足感のあふれる企画となりました。

はたらき隊は、仕事を長く続けていく一助となればとの思いで、交流会を開催しています。皆さんからの要望やアイデアを具体的にしていける企画として、今後も実施していきたいと思っています。

